

2) 2024年6月2日～7日まで、広島市の国際会議場で第15回国際カイアシ類学会（15th International Conference on Copepoda: 15th ICOC）が開催されました。28カ国200名を超える参加があり、カイアシ類をめぐるSDGs、発光、分子進化、共生・寄生、外来種、陸水保全などの基調講演、シンポジウム、口頭発表、ポスター発表が行われ、会場は熱気に包まれました。実行委員は約5年間に渡り、綿密な準備を重ねて、大成功を収めました。本ICOCでは、世界的パンデミックの影響を受けてハイブリッド形式を導入しましたが、ICOCでは初めての試みでした。会長、元会長、評議員の方々からは「私は永年、多くの国内外の学会に参加しましたが、今回の広島市で開催されたものが最も優れたものと断言します。」との評価をいただきました。越智広島大学学長、松井広島市長にはオープニングセレモニーでのご挨拶をいただき、また、多くの方々の御援助や激励をいただき、成功裡に導くことができました。心よりお礼を申し上げます。

